

令和 6 年度 事業報告

現在、我が国では人口が減少するとともに少子高齢化が進み、総務省の推計によれば、65歳以上の高齢者人口は令和6年10月1日現在、3,624万3千人（前年同期に比べ1万7千人増加）で、総人口に占める割合（高齢化率）は29.3%（同0.2ポイント上昇）となり、高齢者人口・高齢化率ともに過去最高を更新しています。

一方、永平寺町における65歳以上の高齢者人口は、令和7年3月31日現在5,701人、高齢化率は32.5%で、昨年より0.3ポイント増加しています。また、当センター会員の平均年齢は76.2歳で、昨年より0.2ポイント増加しており、75歳以上の占める割合は59.8%となっています。

このような中、当センターでは、令和6年度の事業計画に基づき、シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立・共働・共助」のもと、働く意欲のある高齢者に、地域社会に密着した臨時的、短期的または軽易な仕事を提供することにより、働くことを通して生きがいを感じ、社会貢献、健康・福祉の増進、そして地域社会の活性化を図るために、シルバー事業を推進してきました。

その結果、令和6年度においては、引続き新規会員の加入促進および退会防止に努めましたが、新規入会者が23人に対し、退会者が37人と大幅に増え、令和7年3月末の会員数は244人で、昨年度より14人の減となりました。事業状況については、事業契約額88,155千円、前年比105.2%、4,371千円の増額となり、派遣契約額は17,451千円、前年比98.6%、246千円の減額となりました。契約額全体では105,606千円、前年比104.1%、4,124千円の増額となり、令和6年度においても会員皆様のご尽力により、契約額1億円を確保することが出来ました。

今後益々、高齢者を取り巻く社会情勢が変化していく中で、シルバー人材センターの担う役割はより一層大きくなると考えられ、事業運営には欠かせない会員の確保と就業機会の拡大、また、安全・適正就業の徹底や派遣事業への取り組み等、シルバー事業の更なる発展と拡充のため、皆様のより一層のご支援・ご協力をお願いいたします。

以下、令和6年度の事業実績状況について報告いたします。